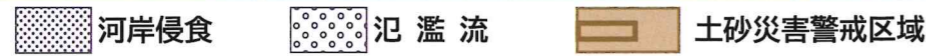


洪水時の避難行動フロー

洪水や土砂災害の危険性がある区域にいる場合、**原則立ち退き避難**が必要です。
皆さま自身で自宅などの災害リスクと避難行動を確認しましょう。

家がある場所は次の区域に含まれますか？▶地図面を見て確認しましょう！



はい ↓ いいえ ↓

家がある場所は浸水しますか？▶地図面を見て確認しましょう！

はい ↓ いいえ ↓

最上階の部屋は浸水しますか？▶地図面を見て確認しましょう！

はい ↓ いいえ ↓



早期立ち退き避難
警戒レベル3で浸水想定区域の外へ避難

立ち退き避難
警戒レベル4までに浸水想定区域の外へ避難

指定緊急避難場所へ
親戚・知人宅へ



日ごろから避難先について
家族で話し合っておきましょう

例外 以下3つの条件が確認できる場合

屋内安全確保(垂直避難)も可能
建物内の安全な場所に避難

【3つの条件】

- ① 河岸侵食・氾濫流・土砂災害警戒区域に入っていない
- ② 最上階の部屋は浸水しない
- ③ 水が引くまで我慢でき、食べ物・飲み物の備えが十分



避難行動時の留意事項

- 親戚・知人宅などへ避難する場合は、各市町のホームページでハザードマップを確認しましょう。
- 土砂災害の危険がある場合、既に屋外に移動することが危険な場合には自宅の斜面と反対側の2階以上の部屋等へ移動しましょう。
- すでに浸水が始まっている、外が危険な状態である場合は、垂直避難をしましょう。

【参考】避難場所の違い

一時避難場所

家庭や自主防災組織、職場などであらかじめ話し合っておいた公園や空き地、コミュニティーセンターなどで、災害発生時に一時的に避難する場所です。

市指定の指定緊急避難場所

指定緊急避難場所: 災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所です。

学校、公民館など



指定避難所も兼ねています。
指定避難所とは自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活を送る場所です。

公園、広場



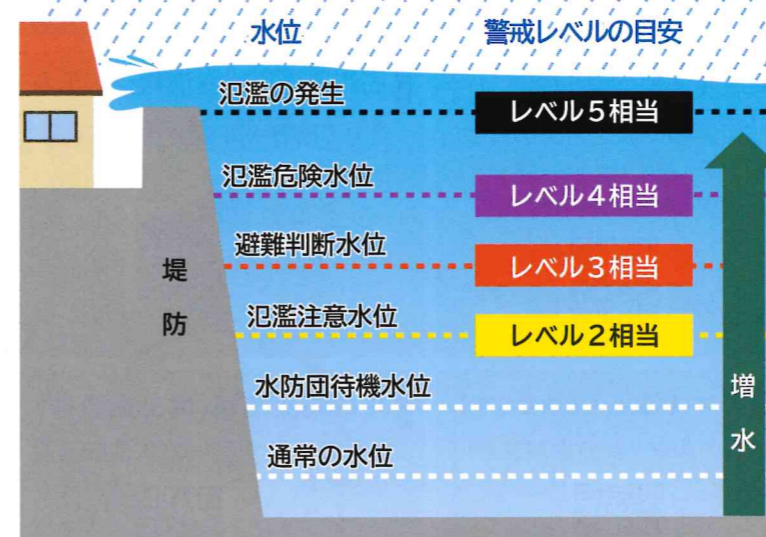
警戒レベルと避難行動

新しい防災気象情報 (令和8年出水期(5月下旬)から運用開始)

- 防災気象情報(河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮)が5段階の警戒レベルにあわせて発表されます。
 - 河川氾濫: 1級河川(手取川)等の大きな河川の氾濫
 - 大雨: 低地の浸水や小さな河川の氾濫
 - 土砂災害: 急傾斜地のがけ崩れや土石流
 - 高潮: 海水面の上昇や高波による浸水
- レベル4相当の情報として危険警報が新設されます。

| 警戒レベル | 金沢市の避難情報 | 国交省・気象庁等の防災気象情報 | | | | 皆さんがとるべき行動 |
|--|----------|-----------------|-------------|---------------|-------------|--------------------------------------|
| | | 河川氾濫 | 大雨 | 土砂災害 | 高潮 | |
| 5 | 緊急安全確保 | レベル5 氾濫特別警報 | レベル5 大雨特別警報 | レベル5 土砂災害特別警報 | レベル5 高潮特別警報 | 命の危険！直ちに安全確保！ |
| ----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> ----- | | | | | | |
| 4 | 避難指示 | レベル4 氾濫危険警報 | レベル4 大雨危険警報 | レベル4 土砂災害危険警報 | レベル4 高潮危険警報 | 危険な場所から全員避難 |
| 3 | 高齢者等避難 | レベル3 氾濫警報 | レベル3 大雨警報 | レベル3 土砂災害警報 | レベル3 高潮警報 | 避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など |
| 2 | — | レベル2 氾濫注意報 | レベル2 大雨注意報 | レベル2 土砂災害注意報 | レベル2 高潮注意報 | 避難行動を確認 避難場所、避難ルート、避難のタイミングなど |
| 1 | — | 早期注意情報 | | | | 災害への心構えを高める |

水位の変化と警戒レベルの目安



土砂災害にも注意！

大雨が降った場合には、土砂災害が発生する危険性もあります。がけが崩れて、建物を押しつぶしたり、押し流したりするおそれがあります。



【地図上の表記】

- 土砂災害特別警戒区域: 土砂災害警戒区域のうち、被害を受けるおそれが高い区域
- 土砂災害警戒区域: 土砂災害が発生したときに被害を受けるおそれがある区域

身の回りで危険を感じたら、市の避難に関する発令を待たずに、自主的に避難を開始してください。